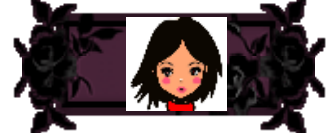




## リレー企画 <不思議な夢>

最後の語り手



**TomyJr.** さんにふいに名前を呼ばれた私は、それが何を意味するのかわからなかった。ぼかーんとまぬけな顔をしている私を、みんなが注視していた。ほんの一瞬の間に、いくつか自問自答しながら、ここに至るまでの T 教授の私への言動を思い出してみた。2 秒後に、ことの次第を理解した私は、左斜め方向にいる T 教授を睨みつけた。T 教授は、何も心配することはない、というような笑顔でウィンクしてみせた。

私は、この 2 週間の間研究生たちの言動を記録するよう、T 教授に頼まれてここにやってきた、はずだった。今までにも、T 教授の講義で、学生や研究生たちの発表を速記することを、何度か依頼されていた。まさかここで自分が"被験者"に含まれているとは、思いもしなかった。

もっと早く気付くべきだった。。

ここに来ている研究生たちは、自分が任意で選出され、ここに来て「夢を語り合う」のだと思っている。でも、最初に語られた夢について、数行記録した段階で、私は彼等がヒステリー患者であることに気がついていた。

彼等の多くが、虚言癖や解離性の健忘・遁走、離人症やトランスなどのなんらかのトラブルを日常的に抱えていて、なおかつ本人には自覚がなかった。T 教授は、おそらく彼等の深層にあるものを「夢」を通して語らせ、そこに何らかの共通性を見いだそうとしているようだ。

ものすごくショックだった。

ここに私が呼ばれ、夢を語るということは、つまりは問題が私の側にあると、T 教授に判断されたことに他ならなかった。

私は、母親の奇行について、T 教授に打ち明けたことを後悔していたが、ここで引き返すことは出来なかった。





母の奇行が酷いときには、必ず決まって見る夢がある。  
夢について他人に語ることに、生産的な意味があるのか疑問なのだけ  
ど。。  
でも、あの夢について、話してみるとしよう。

眠くて眠くて仕方がないのに、どうしても眠れない。  
明日何かの予定があって、早く寝たいのに寝付けない。  
この状況に、私はイライラしながら、  
村で最も大きな身体を持つ最も力持ちの男に、  
「私を赤ん坊のように抱いて、あやしながら寝かしつけて欲しい」と頼む。  
すると男の手は、私を優しく包むベッドとなった。  
私はその手に、ゆっくり優しく揺すられながら、  
自分が思い出せる限りの最も古い記憶について、思いを馳せている。  
自分が乳児期だった頃のその部屋の、カーテンや壁紙の模様を  
思い出しながら、いつの間にか眠ってしまった。

大男の手のごつごつした感触で、私は思いのほか早く目覚める。  
目を開けて見回すが、見慣れたはずの部屋の中には誰もいない。



外に行くと、絶対に近寄ってはいけないと言われていた  
井戸が、私を手招きしている。「恐ろしい」という  
明確な思いと裏腹に、私は井戸に歩かずにはいられない。  
そして、わたしは深い深い井戸に自ら落ちていく。  
その井戸は思った以上に深く、底に身体が  
叩き付けられるまで、随分長い時間がかかる。  
いや、実はほんの1秒程度だったかもしれない。  
でも、身を起こして見上げた天の丸く明るい光は、  
どうあがいても手が届きそうにない。

その井戸の遠い入り口のすぐそばでは、  
近所のおばさんたちが井戸端会議をしている。  
その声の中に、母の声を聞き取るが、  
彼女たちが何を話しているのかは、わからない。





ボールを蹴り合って遊ぶ子どもたちのはしゃぐ声も聞こえる。私は自分の存在を知らせようと、大声を出してみるが、どうやら私の声は向こう側には届かないようだ。

私は声を張り上げるのをやめ、手を伸ばして井戸の壁を探る。しかし 360°手を回しながら、周囲を少し歩き回ったものの、手に触れるものはなにもない。

とりあえず、右手の方にしばらく、歩いてみる。

左に一旦戻るか迷ったが、そのまま右に突き進んでみる。

やはり何も触れない。だというのに、おかしいことに随分歩いてみても、頭上にある明るく小さな天の光は、寸分違わぬ場所に位置している。

私は井戸に落ちる辺りから、これは夢なのだと確信していた。

私はたいていの夢において、「これは夢」だと認識できていて、そして、これも「夢」なのだとわかっている。

なのに、この夢からいつ目覚めるのか、見当がつかない。

もしかしたら、今までいた世界の方が夢で、こちらが現実かもしれない。

何か、現実を証明できるものを思い起こそうとするが、

確かなものがみつからない。



ここまで一気にまくしたてた私は、周囲をゆっくり見回した。

みんなは、それぞれ自分が語った夢を想起し、

自分の心の本当の部分にフォーカスしはじめたようだった。

